

5

九州地方

学習1 多様な自然がみられる地域

- 九州地方は、大陸に近く、古くから外国との交流がさかんです。福岡市は九州地方の中心であり、福岡空港は、東アジア・東南アジアの国・地域と定期路線でつながっています。
- 九州地方には、阿蘇山や霧島山、桜島(御岳)など、多くの火山があります。阿蘇山には火山活動によってできたくぼ地である**カルデラ**があり、世界最大の大きさです。
- 阿蘇山の北側には筑紫山地、南側には九州山地があります。阿蘇山からは筑後川、白川が流れ出し、下流に筑紫平野や熊本平野が広がっています。これらの川が流れこむ有明海には、巨大な干潟があります。
- 九州地方の北西部や対馬にはリアス海岸が見られます。また、南西諸島には多くの島があり、さんご礁が発達しています。
- 九州地方は、黒潮(日本海流)と対馬海流という2つの暖流が近海を流れているため、冬でも比較的温暖です。梅雨の時期から台風の通過する秋にかけて降水量が多く、豪雨になることもあります。
- 鹿児島県の屋久島は、1993年に**世界(自然)遺産**に登録されました。

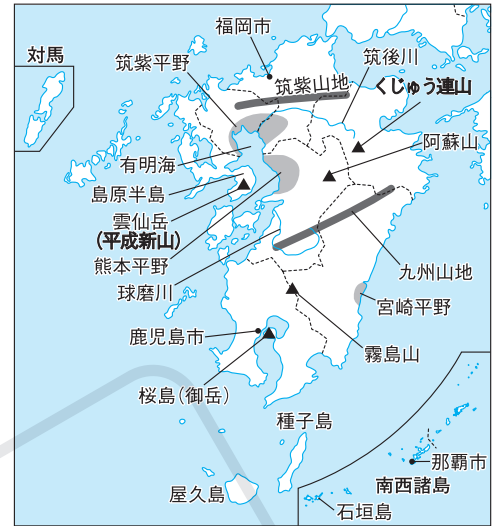
学習2 火山とともに暮らす

- 九州地方には多くの活火山があり、噴火による火砕流や火山灰で被害が出ることもあります。1990年には雲仙岳が、2011年には霧島山の新燃岳が噴火しました。
- 火山は、災害を引き起こす一方で、美しい景観や温泉などの恵みをもたらします。大分県の別府温泉や由布院温泉などは、全国有数の温泉観光地です。地熱を利用した発電も行われています。
- 九州地方の南部には、火山の噴出物が厚く積もった**シラス台地**が広がっています。シラス台地は水をたくわえにくいので、稲作には適していません。
- 鹿児島県では、避難場所などを記した**ハザードマップ**や防災ガイドブックが作成されています。

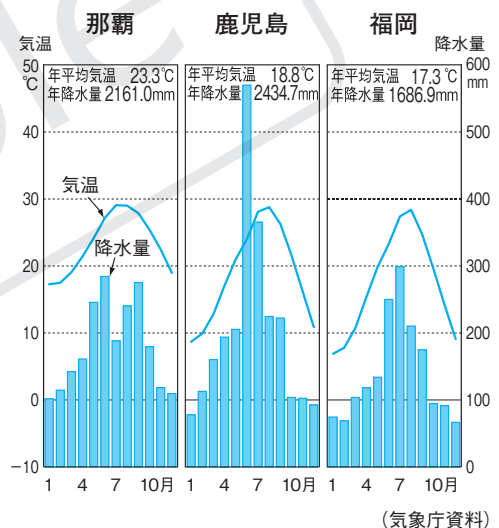
学習3 特色ある自然と多様な農業

- 九州地方の北部に広がる筑紫平野は、九州地方を代表する稲作地帯であり、二毛作もさかんです。
- 沖縄県の石垣島では二期作が行われています。さとうきび・パイナップル栽培もさかんです。

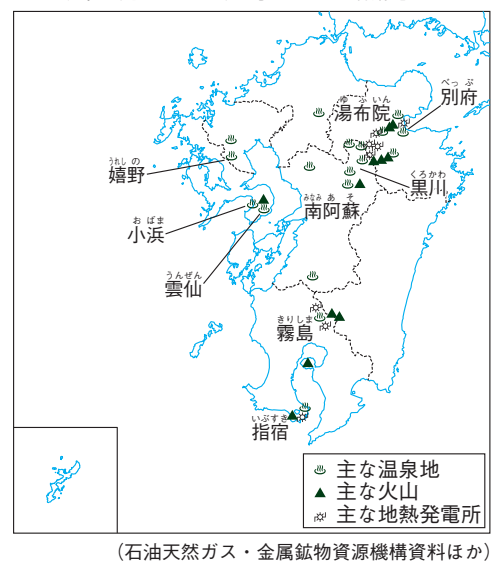
▼九州地方の自然



▼九州地方の主な都市の雨温図



▼九州地方の主な温泉地・地熱発電



**note** 二毛作と二期作

- ・二毛作…同じ耕地で一年間に2種類の農作物を栽培すること。
- ・二期作…同じ耕地で一年間に2回同じ農作物を栽培すること。

- 宮崎平野では、1960年代に裏作として野菜の栽培が始まりました。現在は、冬でも温暖な気候を生かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどをつくる**施設園芸**がさかんです。
- 九州地方では、豚や肉用若鶏、肉牛の**畜産**がさかんです。鹿児島県の笠野原では、畑作・畜産が発達しています。
- 「みやざき地頭鶏」や「さつま地鶏」など、安全で質のよい**地域ブランド**の商品をつくり、高価格の取引を増やそうとしています。

**学習4** 工業の移り変わり**と環境保全**

- 1901年、現在の北九州市に官営の八幡製鉄所がつくられました。八幡製鉄所は、筑豊炭田に近く、鉄鉱石の輸入先であった中国にも近いことから、日本の鉄鋼の多くを生産するようになりました。
- 工業生産が拡大する一方で、高度経済成長期には大気汚染などの公害が深刻化しました。そのため企業などが公害対策に取り組むようになったことで、北九州市の環境は著しく改善され、現在では省エネルギー技術の開発・実用化が進んでいます。
- 1960年代に主要なエネルギー源が石炭から石油に変わる**エネルギー革命**が進んだことなどから、**北九州工業地域**は、全国の工業地帯・工業地域に占める地位が低下しています。近年は、ペットボトルや蛍光管などのリサイクル工場が集まっています。
- 九州地方では、1960年代以降、**集積回路(IC)**の工場が増えました。また近年では、福岡県宮若市・大分県中津市に大規模な自動車工場が進出していることから「カーアイランド」ともよばれています。

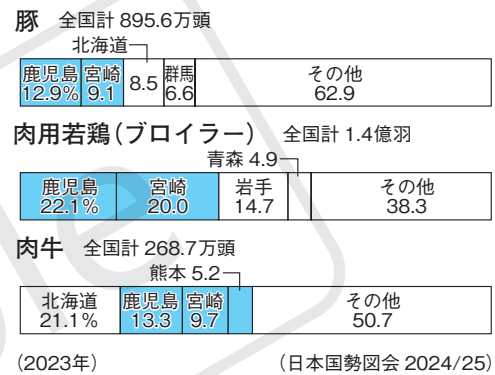
**学習5** 沖縄県の観光開発**と環境保全**

- さんご礁は、きれいで水温が高い海の浅瀬に見られます。
- 沖縄県と奄美群島(鹿児島県)では、かつて**琉球王国**が栄えました。
- 沖縄は、第二次世界大戦末期に激戦地となり、1972年までアメリカ合衆国の統治下に置かれていました。沖縄県には、日本にある米軍基地の面積の約70%が集中しています。
- 沖縄県では、観光業がさかんで、第三次産業に従事する人の割合が高くなっています。1994年にはさんごを守るため、赤土流出を防止する条例が定められました。近年では、沖縄の自然を学び、海岸の清掃に参加するエコツアーの取り組みも広がっています。

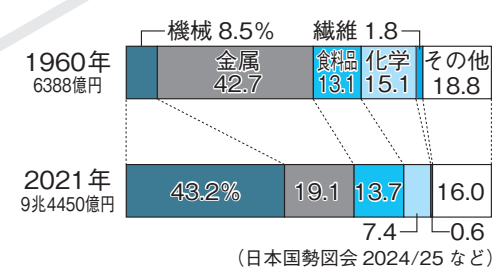
▼シラスの分布



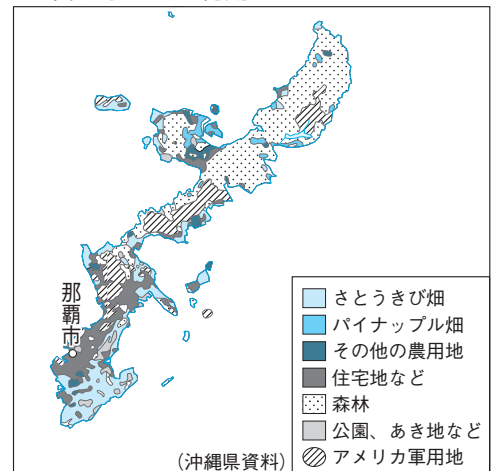
▼主な家畜の飼育数の都道府県別割合



▼北九州工業地域の製造品出荷額等の変化



▼沖縄島の土地利用

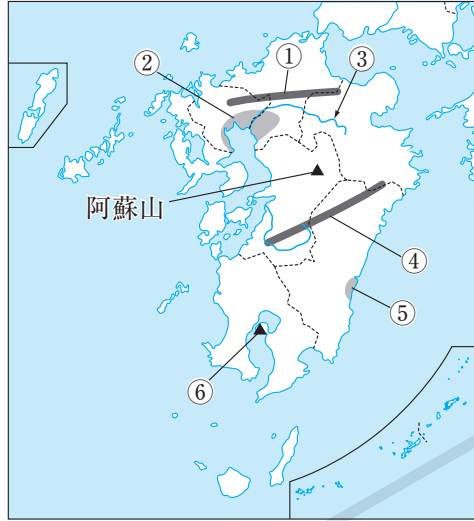


# 確認問題

●一問一答● 次の問いに答えなさい。

学習1

- (1) 地図中の①の山地を何というか。
- (2) 地図中の②の平野を何というか。
- (3) 地図中の③の河川を何というか。
- (4) 地図中の④の山地を何というか。
- (5) 地図中の⑤の平野を何というか。
- (6) 地図中の⑥の火山を何というか。



- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_
- (4) \_\_\_\_\_
- (5) \_\_\_\_\_
- (6) \_\_\_\_\_

学習2

- (7) 地図中の阿蘇山に見られる、火山の噴火などによってできたくぼ地を何というか。
- (8) 九州地方の南部に広がる、火山の噴出物が積み重なってできた台地を何というか。 水もちが悪いため稲作には不向きである。
- (9) 地震や火山活動、水害などの自然災害の被害を予測してつくられ、防災に役立たせるための地図を何というか。

- (7) \_\_\_\_\_
- (8) \_\_\_\_\_
- (9) \_\_\_\_\_

学習3

- (10) 同じ土地で一年間に2種類の農作物を栽培することを何というか。  
(2)の平野では、米の裏作として小麦が栽培されている。
- (11) 大消費地である都市向けに生産を行う農業のうち、ビニールハウスなどの施設を用いた農業を何というか。
- (12) 鹿児島県や宮崎県、熊本県などで農業産出額に占める割合が高く、さかんに行われている農業は何か。 豚や肉用若鶏、肉牛の飼育数が全国有数である。
- (13) 「みやざき地頭鶏」や「さつま地鶏」など、地域の特産品につけた価値を何というか。

- (10) \_\_\_\_\_
- (11) \_\_\_\_\_
- (12) \_\_\_\_\_
- (13) \_\_\_\_\_

学習4

- (14) 福岡県に広がる、鉄鋼業を中心に発達してきた工業地域を何というか。  
官営八幡製鉄所が1901年に操業を開始した。
- (15) 1960年代以降の日本で、エネルギー源が石炭から石油に変わったことを何というか。 (14)の工業地域としての地位が低下した。
- (16) コンピューターなどに使用される電子回路を何というか。  
高速道路のインターチェンジや空港の付近に工場がつくられることが多い。
- (17) 福岡県や大分県に自動車工場が進出したことから、九州は現在何とよばれているか。

- (14) \_\_\_\_\_
- (15) \_\_\_\_\_
- (16) \_\_\_\_\_
- (17) \_\_\_\_\_

学習5

- (18) かつて沖縄県と鹿児島県の奄美群島にあった王国を何というか。
- (19) 沖縄県がアメリカ合衆国の統治下に置かれていたのは西暦何年までか。  
現在も米軍基地が沖縄県に集中している。
- (20) 沖縄県などで行われている、自然を学び、海岸の清掃に参加するツアーを何というか。

- (18) \_\_\_\_\_
- (19) \_\_\_\_\_
- (20) \_\_\_\_\_

# 基本問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) a～cの平野・台地にあてはまるものを、次のア～ウから選びなさい。

- ア シラスが広がっている。
- イ 米と小麦の二毛作が行われている。
- ウ あたたかい気候を利用し、施設園芸がさかんである。

□(2) Aには、八丁原<sup>はっちょうぼる</sup>発電所がある。  
□ にあてはまる発電所の種類を、次のア～エから選びなさい。

- ア 風力      イ 地熱
- ウ 太陽光    エ 原子力

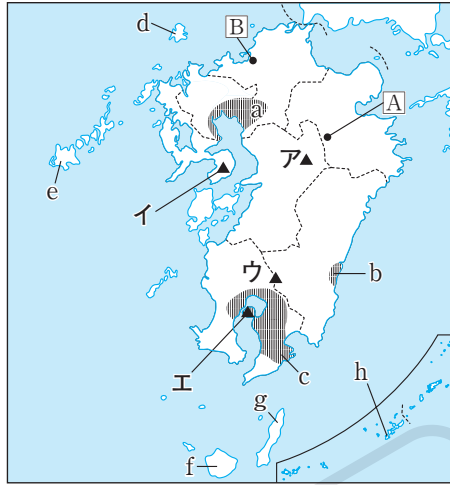
□(3) 世界有数のカルデラをもった火山の位置を、地図中のア～エから選びなさい。

(4) 次の①・②にあてはまる島を、地図中のd～hから選びなさい。

- ① 米軍基地が多い。かつては琉球王国が栄えた。
- ② 豊かな自然が見られ、世界遺産に登録されている。

□(5) Bの都市の説明としてあてはまるものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 別府温泉や由布院温泉がある。
- イ 九州地方の中心都市である。
- ウ 水俣病とよばれる公害病が発生した。
- エ 志布志港がある。



	a	
(1)	b	
	c	
(2)		
(3)		
(4)	①	
	②	
(5)		

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) aの福岡県宮若市・大分県中津市でさかんな工業を、次のア～エから選びなさい。

- ア 自動車工業      イ 印刷業
- ウ 鉄鋼業            エ せんい工業

□(2) bの海に見られる、砂や泥でできた巨大な低湿地を何というか。

□(3) cの平野でさかんに生産されている野菜を、次のア～エから2つ選びなさい。

- ア きゅうり      イ トマト
- ウ レタス        エ ピーマン

□(4) dの島でさかんに栽培されている作物を、次のア～エから2つ選びなさい。

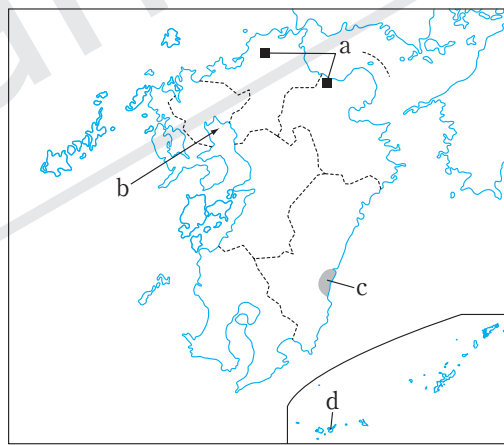
- ア パイナップル      イ りんご      ウ さとうきび      エ 米

□(5) 右の図中のW・Xにあてはまる工業を、北九州工業地域の製造品出荷額等の変化

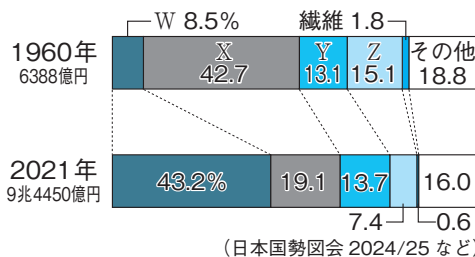
次のア～エから1つずつ選びなさい。なお、W～Zには、次のア～エのいずれかがあてはまる。

- ア 食品      イ 機械
- ウ 金属      エ 化学

□(6) 1960年代に起こった、主要なエネルギー源が石炭から石油に変わったことを何というか。



(1)	
(2)	
(3)	•
(4)	•
(5)	W
	X
(6)	





# 練習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

九州地方の中央部には、巨大な( ① )をもつ阿蘇山がある。阿蘇山の北側には( ② )山地が連なっている。阿蘇山から流れ出す筑後川の下流には( ② )平野が広がる。佐賀県の南には、日本最大の( ③ )をもつ有明海があり、養殖のりの産地となっている。鹿児島県の大隅半島より南の島々は<sup>④</sup>南西諸島といい、豊かな自然を求める観光客が多く訪れる。九州地方近海には<sup>⑤</sup>暖流が流れているので、九州地方の気候は温暖である。雨は、( ④ )の時期から( ⑤ )が通過する時期に多く降る。集中豪雨により洪水などの自然災害が起こることがある。

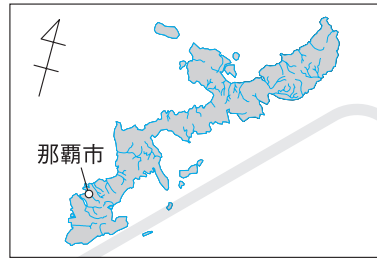
□(1) 文中の①～⑤にあてはまる語句を、次のア～カから選びなさい。

- ア 九州      イ 梅雨      ウ 筑紫  
エ カルデラ      オ 干潟      カ 台風

□(2) **表現力** 下線部<sup>④</sup>で、水不足が起こりやすい理由を、右の地図を参考にして書きなさい。

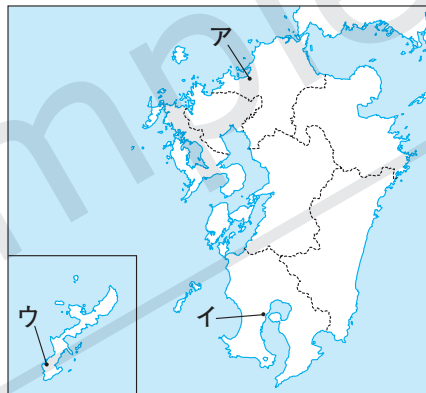
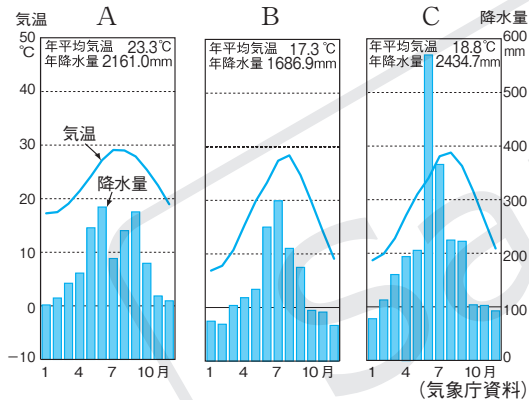
□(3) 下線部<sup>⑤</sup>について、九州地方の南東と北西を流れる暖流名を、それぞれ書きなさい。

沖縄島の河川や湖沼を表した地図



①	
②	
(1) ③	
④	
⑤	
(2)	
(3) 南東	
北西	

2 次の図や表を見て、あとの問いに答えなさい。



□(1) A～Cの雨温図が示す都市を、地図中のア～ウから選びなさい。

□(2) 表中のXが示すものを次のア～エから、Yが示すものをあとのオ～クから選びなさい。

- ア 宿泊施設の数      イ スキー場の数  
ウ 温泉の源泉数      エ 大学の数  
オ 水力発電の発電電力量  
カ 地熱発電の発電電力量  
キ 火力発電の発電電力量  
ク 太陽光発電の発電電力量

県	X	Y (百万kWh)
福岡県	417	-
佐賀県	187	-
長崎県	202	-
熊本県	1328	-
大分県	5093	823
宮崎県	202	-
鹿児島県	2745	376
沖縄県	21	-

(2021年度) (データでみる県勢2024)

(3) 九州地方の県や都市などについて述べた次の文の下線部のうち、正しいものには○、誤っているものには正しい語句を書きなさい。

- ① 福岡県や佐賀県に広がる筑紫平野では、米と麦の二期作が行われている。  
□② 鹿児島市は、九州地方で最も人口が多い都市である。  
□③ 1990年には、198年ぶりに<sup>うんぜんだけ</sup>雲仙岳が噴火して平成新山<sup>へいせいしんざん</sup>が誕生した。  
□④ 鹿児島県は、ハザードマップを作成して地域の災害危険度を公表している。  
□⑤ <sup>たねがしま</sup>種子島は、豊かな自然があることから、世界(自然)遺産に登録されている。

A	
(1) B	
C	
(2) X	
Y	
①	
②	
(3) ③	
④	
⑤	

③ 次の図を見て、あとの問いに答えなさい。

図1

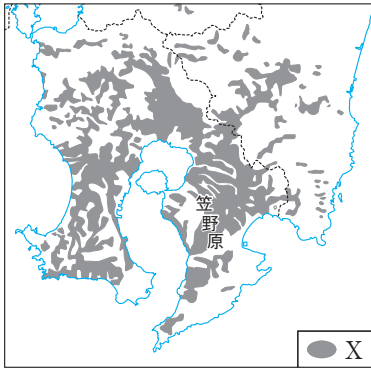
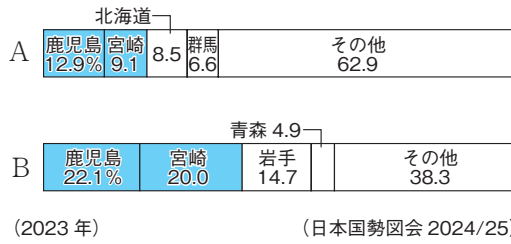
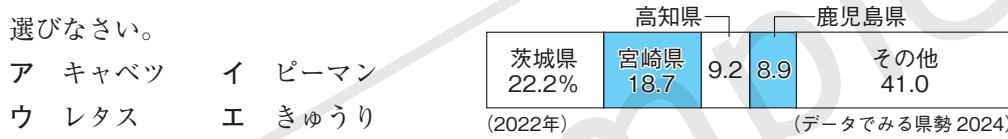


図2 ある家畜の飼育数の都道府県別割合



- (1) 図1中のXが示す、火山の噴出物が積もってできた台地を何というか。
- (2) 図1の笠野原でさかんな農業を、次のア～エから2つ選びなさい。  
ア 稲作 イ 果樹栽培 ウ 畜産 エ 畑作
- (3) 図2中のA、Bが示す家畜を、次のア～エから選びなさい。  
ア 肉用若鶏 イ 肉牛 ウ 乳牛 エ 豚
- (4) 次の文中の( )にあてはまる語句を、カタカナで書きなさい。  
九州地方では、高い価格での取り引きを増やすため、「みやざき地頭鶏」や「さつま地鶏」のような地域( )の商品をつくっている。

- (5) 図3が示す野菜を、次のア～エから 図3 ある野菜の都道府県別生産割合

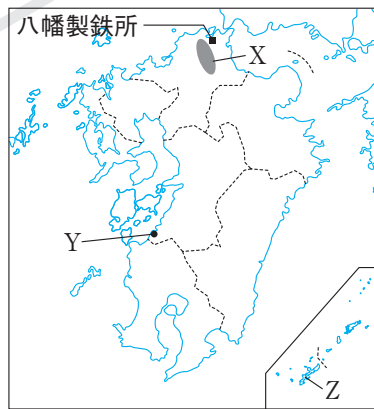


- ア キャベツ イ ピーマン
- ウ レタス エ きゅうり

- (6) **表現力** 宮崎県では、図3の野菜などを温室で栽培している。宮崎県で施設園芸がさかんな理由を、「冬」「燃料費」の語句を用いて、解答欄に合うように簡潔に説明しなさい。

4 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中の八幡製鉄所を中心として発達してきた工業地域を何というか。また、地図中のXは、製鉄の際に原料として用いられる鉱産資源の産地であった地域を示している。この鉱産資源を、次のア～エから選びなさい。



- ア 原油 イ 石炭 ウ ウラン エ 銀
- (2) 地図中のYの都市の周辺で、水質汚濁を原因として発生した公害病を何というか。
- (3) 地図に示した九州地方で、1960年代以降に増えたのは何をつくる工場か。次のア～エから選びなさい。  
ア 繊維 イ 食品 ウ 輸送用機械 エ 集積回路(IC)
- (4) 造船業がさかんな都市を、次のア～エから2つ選びなさい。  
ア 佐世保市 イ 久留米市 ウ 延岡市 エ 長崎市
- (5) 地図中のZの県を1972年まで統治していた国はどこか。また、Zの県には、日本にあるこの国の軍基地の面積の何%が集中しているか、次のア～エから選びなさい。  
ア 約25% イ 約50% ウ 約70% エ 約90%

- (6) **表現力** 地図中のZの県で、赤土の流出を防止する条例を制定した目的を、簡潔に書きなさい。

③

(1)	台地
(2)	.
(3)	A
	B
(4)	
(5)	
(6)	生産費を小さくできるから。

4

(1)	工業地域	工業地域
	X	
(2)		
(3)		
(4)	.	
(5)	国	
	割合	
(6)		